

夏休み小学生裁判体験

実施報告

令和8年8月26日（水）の午前と午後の2回に分けて、小学5・6年生を対象とした模擬裁判体験を行い、たくさんの児童とその保護者の方々にご参加いただきました。

当日の様子

裁判官による説明

裁判官が、裁判所の仕事や役割、刑事裁判手続についての説明を行いました。



模擬評議

グループに分かれてもらい、被告人は有罪・無罪どちらなのか、話し合っていました。



模擬公判

実際の法廷にて、くじで決定した配役に分かれ、シナリオに沿って、裁判員裁判の体験を行いました。



法廷見学

参加者の方々は、法廷内を見学したり、裁判官の法服を着て記念撮影をしたりしました。



参加児童からの感想



法服を初めて着てみて、実際に無罪か有罪かも決められて、とても楽しく、裁判官の気分が味わえました。

起訴状に書いてあることの中でどれが正しいのかを見極める必要もあるし、私は弁護士側だったから無実だと思ったのかもしれないけど、他の人の立場から見たらどうなんだろうと思うと難しかったです。



保護者からの感想



普段は入れない場所であるため、私自身も緊張したし、楽しかったです。親子共々いい勉強にもなり、いい経験になりました。

模擬裁判の後の話し合いで自分の意見を述べている姿を見て、体験してよかったと思いました。



ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました!!